

平成 27 年 1 月 5 日

各 位

大和証券グループ本社

2015 年 日比野社長 新春ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年、2014 年は、一昨年のアベノミクス相場のような熱狂こそ無いものの、“貯蓄から投資の時代”本番を迎える為の条件が整い、今年、2015 年に明るい期待をつなぐ良い 1 年であったと思います。海外では、さまざまな地政学的リスク、米国 FRB の QE3 終了、原油価格の急落に伴う資源国通貨安など、市場の波乱要因には事欠きませんでした。一方、国内は好調な企業業績、日銀の追加金融緩和、GPIF による株式及び外貨資産への大幅なアセットアロケーション拡大、そして、コーポレートガバナンス強化に向けた取り組みなど、証券市場にとってポジティブな動きが多く見られました。年末の総選挙も、政権基盤の強化を通じたアベノミクス推進加速への期待が高まる結果となりました。

大和証券グループにとっての 2014 年は、現中期経営計画の総仕上げに向けた 1 年でしたが、所期の成果を残すことができました。上半期決算は、経常利益が 839 億円、純利益は 714 億円となり、目標である「連結経常利益 1,200 億円以上」の達成に向け、順調なペースで進捗しています。また、安定収益による固定費カバー率も目標の 60%を上回る水準で推移しており、クオリティの面においても着実に成果が現れています。これは、強靱な経営基盤を構築するという経営基本方針の下、グループを挙げて、ビジネスの多様化や安定収益の拡大に取り組んできた結果です。

これまで、「貯蓄から投資」へのマネーシフトが本格化する条件として、第 1 に、デフレからの脱却、第 2 に、投資の成功体験の広がり、第 3 に、政策・制度の後押し、そして第 4 に、企業の「稼ぐ力」の向上、という 4 つを挙げてきました。デフレ環境が終息する中、アベノミクス相場による投資の成功体験が広がっていること、NISA の制度拡充や GPIF の運用改革、そして、日本再興戦略において企業の「稼ぐ力」の向上が政策目標の中核に掲げられたことなどを踏まえ、これらの必要条件は全て満たされつつあると言えます。

従って、現中期経営計画の総仕上げと共に、次期中期経営計画のスタートとなる 2015 年を、私たちは、まさに“貯蓄から投資の時代”本番入りと共に迎えているということになります。“貯蓄から投資の時代”本番では、金融資産を保有する、或いは、保有しようとする全ての国民、家計にとって、証券投資が必要不可欠なものとなると考えています。

大和証券グループといたしましては、資産形成層、退職者層を含む、幅広い投資家層に対して、最適な商品、快適な情報アクセスを提供し、「最も選ばれる証券グループ」となると共に、証券・資本市場の発展を通じ、日本の成長戦略に貢献できるよう、グループを挙げて取り組んで参ります。

本年も大和証券グループをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以 上